

SC03P-PC ウインドシールド取扱・取付説明書

適応機種：ホンダ車

スーパーカブ110プロ(09～) 型式：EBJ-JA07

- 販売店様へ
この取扱・取付説明書は、必ずお客様にお渡し下さい。
- お客様へ
この取扱・取付説明書は必ず保管してください。

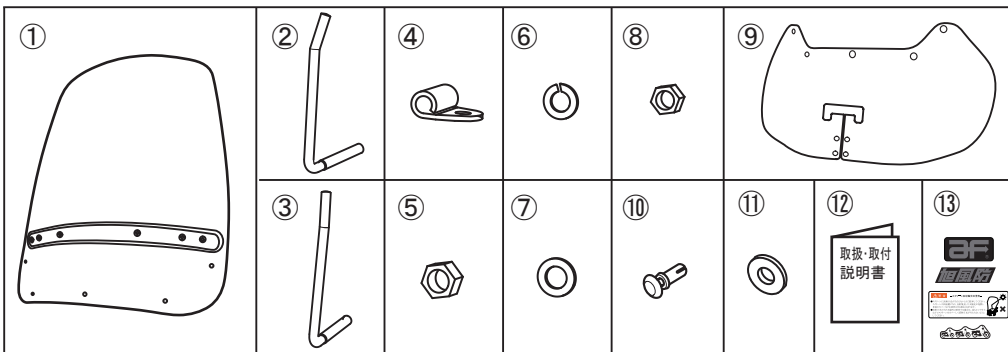
発売元：株式会社 旭精器製作所
住 所：東京都足立区舎人2-16-21
T E L：03-3853-1211

このたびは、旭風防ウインドシールドをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつも手元に置いて、正しい取扱方法により
永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

部品構成表

No	部品名称	QTY	No	部品名称	QTY
①	シールドASSY	1	⑧	キャップナット小型 M10	2
②	ステーR	1	⑨	外ASSYセット	1
③	ステーL	1	⑩	プラスチックリベット (大)	7
④	ホルダーYφ10.5	2	⑪	ゴムワッシャー 5mm	5
⑤	ナット M10	2	⑫	取扱・取付説明書	1
⑥	スプリングワッシャー M10	2	⑬	シールドセット	1
⑦	ブレンワッシャー 10.5X18X1.6	4			

※シールドセットは、ウインドシールドに貼付けて使用してください。



ウインドシールド取扱について

⚠ 注意

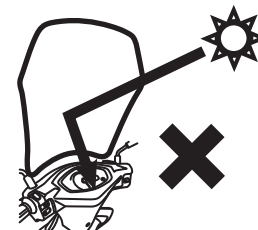
- 走行前に取り付け状態を点検し、各部のボルトが確実に締め付けられているか確認してください。
- ウインドシールドが汚れた場合は多量の水をかけながら柔らかい布か、スポンジで拭いてください。
- ウインドシールドは、傷つきやすいのでブラシなどの洗浄は避けてください。
- ウインドシールドの汚れがひどいときは、中性洗剤を使用してください。
- 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤でのお手入れは避けてください。
またバッテリー液、ブレーキフルードがウインドシールドに付着しないようにしてください。ウインドシールドのプラスチックを損傷します。
- ボディカバー(車体カバー)をかぶせた状態で駐車する場合は、日陰の風通しの良い場所を選んでください。
- ボディカバー(車体カバー)をかぶせて高温下に駐車しますとカバー内に熱がこもり、ウインドシールドが変形する場合があります。
- ボディカバー(車体カバー)を使用の際は、ウインドシールドに無理な力がかからないものをご使用ください。
小さなものを無理にかけますと、ウインドシールドが変形したり、折れたりする場合がありますので注意してください。
- 無理に折り曲げたり、強い衝撃を加えますと破損することがありますので注意してください。

⚠ 警告

- 風の強い日は、風の影響を受けやすいので、スピードを控えめにして走行してください。
- 駐車する場合は、安定した場所(路面の固い平坦地)を選んでください。
- ウインドシールドの著しい傷つきや、黄変がある場合は、十分な前方視界の確保ができない為、シールドの交換を行ってください。
- スクリュー、ボルト、ナットは確実に締めてください。
締め付けが不確実な場合、走行中に脱落し、自分または後続車の乗員や歩行者を死亡、または重大な傷害に至らしめる可能性が高くなります。

— スクリーン反射集光の警告 —

- スクリーンに直射日光が当たらないように駐車してください。
スクリーンが凹面鏡になり、反射集光した太陽光が発熱し車両のカバーなどを変形させる恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所に駐車する場合は、柔らかいタオルなどでスクリーンをカバーして直射日光が当たらないようにしてください。

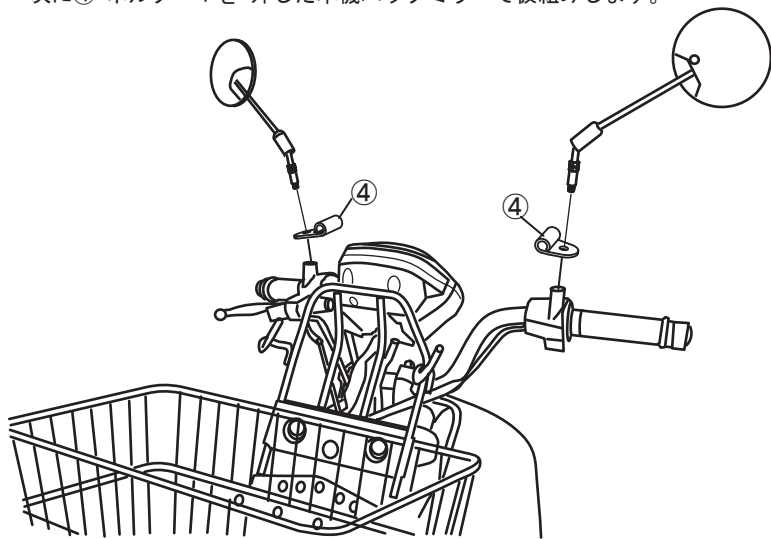


取り付け方法

(ウインドシールドの取付)

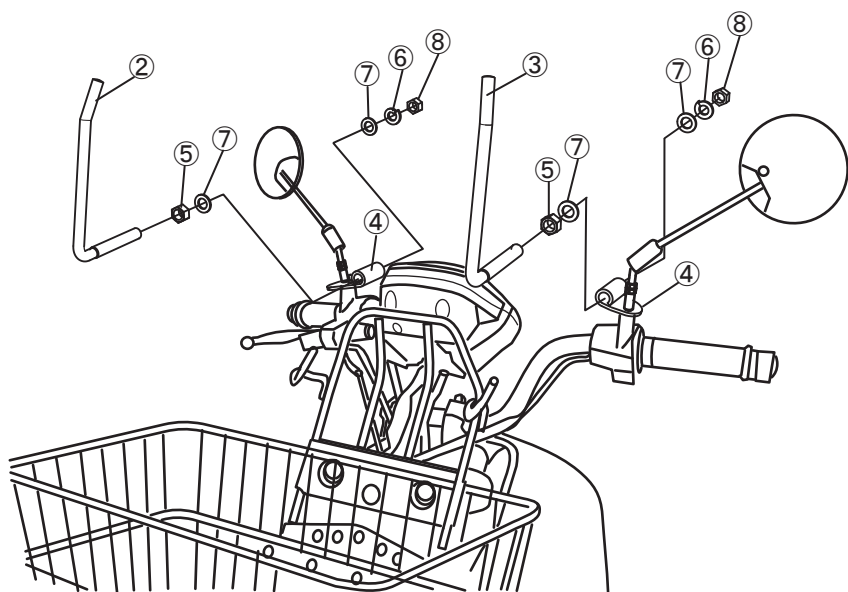
I

はじめに、本機のバックミラーを取り外します。
次に④ホルダーYを外した本機バックミラーで仮組みします。



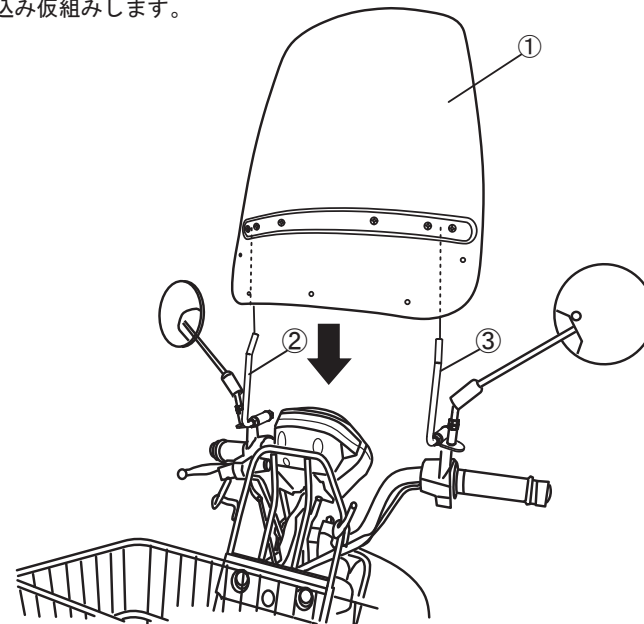
II

次に④ホルダーYに②ステーR、③ステーLを⑤ナットM10、
⑥スプリングワッシャー10mm、⑦ブレンワッシャー10mm、⑧キャップナットM10で
仮組みします。



III

①シールドASSYに付いているブラケットのネジをゆるめ、②ステーR、③ステーLに
上から差し込み仮組みします。



IV

①シールドASSYに、⑨タレASSYを⑩プラスチックリベット(大)⑪ゴムワッシャーで
止めます。

⑨タレASSYの下側を交差させ、⑩プラスチックリベット(大)で止めます。

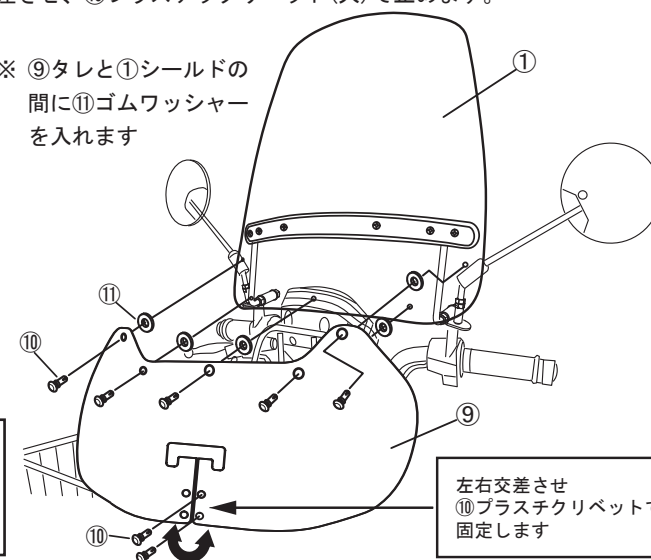
タレのライト位置とライトの位置が
合わないときは、ブラケットをゆる
めて高さを調整してください。
ウインドシールドとタレの孔位置を
合わせてプラスチックリベットと
ゴムワッシャーで固定します。



アドバイス

本締めする時に、各部品が大きく動か
ないように各部品を押さえながら本締め
してください。

※ ⑨タレと①シールドの
間に⑪ゴムワッシャー
を入れます



左右交差させ
⑩プラスチックリベットで
固定します

最後に前後左右のバランスを取りながら①シールドASSY、⑨タレASSYの位置を
調整し仮組みしたボルト・ナット類をすべて本締めして完成です。

バックミラーの取り外し方

各取説に、『本機のバックミラーを取り外します。』とあります
バックミラーの取り外し方を追加説明いたします。

2007年以降の純正のバックミラーの
構成は一部を除き下記図の様な仕様になっています。

バックミラーを取り外すときは、下記の図の様に
ターナーごと取り外してください。

